

# 2019 赤十字かごしま 冬号 +

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

■発行所：日本赤十字社鹿児島県支部 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号 TEL099(252)0600



(写真：平成30年度九州八県支部合同災害救護訓練の様子)

## CONTENTS

- 1 新年のご挨拶 日本赤十字社鹿児島県支部長 三反園 訓  
第36回NHK海外たすけあいキャンペーン報告
- 2 平成30年度日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練報告
- 3 県内の青少年赤十字加盟校が栄誉！
- 4 鹿児島県赤十字血液センター 複数回献血クラブ「ラブラッド」
- 5 お知らせ



## 新年の御挨拶

日本赤十字社鹿児島県支部  
支部長 三反園 訓

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から赤十字事業への深い御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、国内において、西日本豪雨災害や大阪北部地震、北海道胆振東部地震などの災害により多くの方々が被災され、日本赤十字社では、医療救護班の派遣や救援物資の輸送・配分、被災者に対するこころのケア活動など各種支援活動を展開しました。

一方、鹿児島県内においては、幸いにも、医療救護班が出動する事態には至りませんでした。9月に襲来した台風第24号により被災された方々に対して、毛布や緊急セットなどの救援物資をお届けしました。

このような災害救護をはじめとする日本赤十字社が行う様々な活動は、県民の皆様の温かい御支援・御協力によって支えられております。

本年は、名誉総裁の皇后陛下の御退位と国際赤十字・赤新月社の創設100周年という節目の年に当たりますが、昨年に引き続き、「人道」の旗印の下、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動を積極的に展開してまいりますので、何とぞ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が平和で穏やかな年となりますよう、皆様の御健勝と御多幸を祈念し、新年にあたっての御挨拶とさせていただきます。



## 第36回NHK海外たすけあいキャンペーン

昨年12月1日～25日、「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施しました。「NHK海外たすけあい」は、世界各地で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人びとを救うために、毎年12月にNHKと共同で実施しています。

当県支部では、右記の県内7カ所で街頭募金活動を実施し、多くの青少年赤十字メンバーや赤十字奉仕団の皆さまに参加していただきました。また、12月22日の天文館アーケードでは、コンサートを行ったNHK鹿児島児童合唱団も街頭募金活動に参加し、協力を呼びかけました。

総勢233名が街頭に立った今年は、総額457,868円の募金が集まりました。ご協力、誠にありがとうございました。

実施日	場所
12月9日（日）	プラッセだいわ川内店
	プラッセだいわ鹿屋店
12月16日（日）	イオンタウン始良
	イオンモール鹿児島
12月22日（土）	山形屋周辺
	天文館アーケード周辺
12月23日（日）	ニシムタ加世田店



街頭募金の様子



NHK鹿児島児童合唱団による  
コンサート（天文館アーケード）



南海トラフ地震への備えと、九州各県の赤十字の連携強化を図る!!



## 平成30年度 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練



12月2日(日)～3日(月)、九州八県の赤十字救護関係者が佐賀に集結し、合同災害救護訓練を実施しました。

この訓練は、大規模な広域災害を想定し、九州八県の赤十字施設が連携して取り組む救護活動の確立を目的に、平成7年度から毎年行われています。今年度は佐賀市を中心としたエリアで震度7の地震に伴い、各地で甚大な被害が発生したという想定で行われ、厳しい寒さのなか佐賀市水防センターに日赤奉仕団、日赤防災ボランティア、佐賀県、佐賀市、佐賀市広域消防局等、約290名が参加しました。

当県支部からは、鹿児島赤十字病院・特別養護老人ホーム錦江園の職員で編成された救護班1個班(7名)のほか、支部事務局・赤十字血液センターからは、訓練の運営等に関わる職員の計11名が参加しました。

1日目午前中は第1部として、日赤佐賀県支部災害対策本部運営訓練を実施し、要員参集、対策本部設置・運営、情報収集、九州各県支部への本部支援要員及び救護班の派遣要請等を主眼に行われました。午後は第2部として、救護所運営訓練を実施し、合同救護所の設置、通信システムの確保、各防災関係機関との指揮命令系統の確認や傷病者の受入、トリアージ、応急処置、搬送等を重点項目とした訓練が行われました。今回新たに、避難所における救護も取り入れ、現地でのアセスメント調査を実施するなど幅広い救護訓練となりました。各防災機関との連携は、災害救護活動では不可欠であることから、相互の連携や協力態勢を確認する大変有意義な訓練となりました。

2日目は第3部として分科会(災害対策本部部門・救護所部門)と全体会を開催し、訓練参加者(プレイヤー)、運営者(コントローラー)、評価者がそれぞれの立場で訓練を振り返り、活発な意見が交わされました。この評価・検証の内容については、今後の救護活動に活かし、災害対応能力の強化につなげていきます。



救護所における鹿児島県支部救護班の活動の様子



佐賀県支部に設置された災害対策本部



傷病者集積所における初期対応の様子



全体会の様子



## 県内の青少年赤十字加盟校が栄誉！



### 鹿児島市立武小学校が文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞 ～青少年赤十字（JRC）の活動を中心に据えた学校経営～

武小学校は、昭和37年に青少年赤十字に加盟し、青少年赤十字の実践目標である「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」を教育課程に位置づけ、地域の清掃活動やボランティア活動、福祉活動等に全校体制で取り組んでいます。

特に、ここ約15年間は、児童宅や地域からアルミ缶やプルタブを集め、その収益で社会福祉団体等に車椅子を毎年寄贈するなどしています。

こうした赤十字の理念である人道の精神をもち、社会に貢献しようとする子どもたちの育成を目指す継続した武小学校の取り組みが評価され、この度、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞されました。



車椅子寄贈の様子

加盟登録式



### 全国博愛絵画展において県内加盟校児童の絵画が入賞 ～テーマは「博愛」～

日本赤十字社佐賀県支部、佐野常民顕彰会、佐賀市教育委員会で組織された「博愛フェスタ実行委員会」が開催する「博愛フェスタ2018」の「第15回全国博愛絵画展」に、全国から1,147点の応募があり、この度、県内青少年赤十字加盟校児童の作品が入賞しました。



博愛賞

『おいしいたこ焼きできたよ。』

鹿児島市立石谷小学校4年

尾嶋 孝祐 さんの作品



博愛賞

『夜はクワガタの世界』

鹿児島市立石谷小学校4年

大田 聖晃 さんの作品

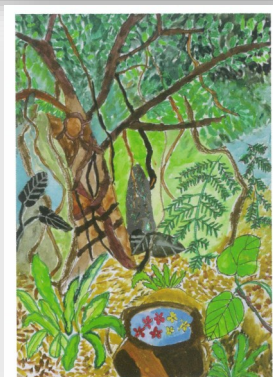


秀作賞

『大好きなサッカー』

鹿児島市立石谷小学校1年

大田 心結 さんの作品



秀作賞

『あふれる緑を守ろう』

鹿児島市立石谷小学校4年

有村 悠希 さんの作品



鹿 児 島 県 赤 十 字  
血 液 セ ン タ

「複数回献血クラブ」の愛称名を「ラブラッド」に統一しましたので、ぜひ会員登録をお願いいたします。



Webサイトをリニューアルしました  
複数回献血クラブ **ラブラッド**



全国どこでも  
**献血  
予約可!**

**ポイントが  
貯まる!**

血液検査の  
結果通知が  
**早い!**

会員限定の  
キャンペーンや  
特典が届く!  
etc

**かんたん会員登録!**

<http://www.jrc.or.jp/donation/club/>



## 赤十字の講習会を受けてみませんか？

### 救急法

日常生活における事故防止、手当の基本、人工呼吸や胸骨圧迫の方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を習得できます。



講習名	開催日	時間	教材費	会場
救急法 基礎講習	3/2(土)	9:00~16:00	1,500円	県赤十字会館 (鹿児島市 鴨池新町1-5)
救急法 救急員 養成講習	3/2(土) 3/3(日) 3/9(土) 3/10(日) ※4日間		9:00~17:30	
	2/9(土) 2/16(土) 2/23(土) ※3日間	薩摩川内市総合 福祉会館 (薩摩川内市永 利町4107-1)		

### 救急法救急員資格継続研修

平成28年3月31日以前の赤十字救急員等資格取得者で2年以上経過し、当該資格有効期間内の方はこの研修を受講していただくことにより資格をさらに5年間継続できます。

※有効期限の切れた方は受講できません。

講習名	開催日	時間	教材費	会場
救急法 救急員 資格継続研修	3/17(日)	10:00~16:00	800円	県赤十字会館 (鹿児島市 鴨池新町1-5)

- ▶各講習とも定員30名
- ▶受講を希望される方は、事前にお申込みください。  
TEL 099-256-2099 (平日:9:00~17:00)  
※資格継続研修をご受講の際は、認定証が必要となります。紛失された方は、お問い合わせください。

☎099(252)0600

